

### 1．実施機関名

国立大学法人神戸大学

### 2．企画名

根源を問い革新を生む国際的科学技术人材育成挑戦プログラム

### 3．総合評価コメント

実施体制に関して、兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学を共同機関とした運営がなされ、県内の先端的研究機関・施設等との連携体制も構築できている。また、受講生の募集に関して、近隣地域の教育委員会と密接に連携し、応募者数について最終年度は初年度の2倍、応募者の在籍校数は4倍近い結果となっている点は評価できる。一次選抜において、面接時の質問方法を工夫し受講生の好奇心や探求心を更に引き出すことで、突出した資質・能力に焦点を当てた丁寧な選抜を行っている。さらに、育成プログラムの各ステージでは、特にオンラインでの指導やコミュニケーションにおいて充実した議論の時間を設けるなどの工夫が見られる。メンタルサポート班を設置するなど受講生に寄り添う姿勢も良い。

一方、受講生が創出する成果については、目標未達の項目もあったため、受講生の対外的な研究発表の機会を増やすなど、より積極的な働きかけが期待される。また、ループリックに基づいた受講生評価については、評価結果を踏まえた評価基準の妥当性の検証に止まらず、プログラム自体の有効性の検証や、その改善に向けたフィードバックについても十分に検討していただきたい。

今後、アドバイザリー委員会等からの提言も反映しつつ、実施機関・共同機関としての経験や本企画での実績を生かした更なる発展が望まれる。コンソーシアムの協力体制の維持と長期的な企画の継続を行うとともに、積極的な情報発信などによる企画の成果やプログラムの社会への一層の普及・展開を期待する。